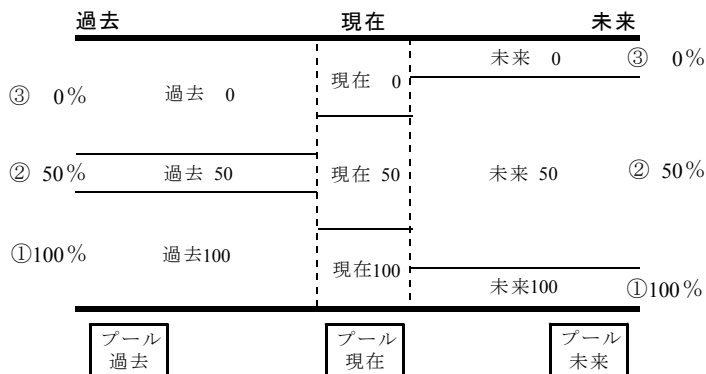


出来事はどの時域に生起するか

発話中の出来事は12時域の中のどこかに位置します。繰り返される出来事は「プール」に置きます。「……たら(ば)」のような条件表現も12分類できます。



図S1-105 12時域図

- [未来 100] ……**確定未来**…… この食事が終わる。
 [現在 100] ……**確定現在**…… 良い資料がこんなにある。
 [過去 100] ……**確定過去**…… 私は昨日田中さんに会った。
 [未来 50] ……**不確定未来**…… 次のコインは表が出る。
 [現在 50] ……**不確定現在**…… 今彼は家にいる。
 [過去 50] ……**不確定過去**…… 彼は自宅で生まれた。
 [未来 0] ……**非実現未来**…… 私は来年本物の鳥になる。
 [現在 0] ……**非実現現在**…… 私はあなたである。
 [過去 0] ……**非実現過去**…… 先週は木曜日がなかった。
 [プール未来] ……**反復未来**…… 将来、パソコンがコンビニで買える。
 [プール現在] ……**反復現在**…… 彼は毎日ジョギングをしている。
 [プール過去] ……**反復過去**…… 昔は電話のある家で電話を借りた。

条件表現の場合には、「(もし)次のコインで表が出れば」[未来 50]、「(もし)私があなたなら」[現在 0]、「私がここにいたら」[過去 100] などのようになります。

問S1-45 「9時に出たら、……。」の未来 50, 現在 100, 過去 0, 過去 100 の例は？

問S1-46 「昨日行ったら彼に会えた。」の3つの可能性を説明してください。

問S1-47 「雨が降ったら、中止する／涼しくなった。」の違いを説明してください。